

ご支援者の皆様へ

【ご協賛等のお願い】

沖縄県 祖国復帰 **49周年記念**  **靖國集会**

沖縄県 祖国復帰 **49-50周年記念祝賀事業推進委員会**

昨年3月より、武漢肺炎の影響に振り回されてばかりの社会ですが、皆様におかれましても、仕事や生活で様々なご苦労があったことと察します。そのような中でも、引き続きご支援をいただいたことを心より感謝申し上げます。

当フォーラムも大きく影響を受け、1月末に沖縄で開催する予定のイベントが延期を余儀なくされたものの、約1ヶ月後の3月6日に開催することができました。これも、皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。簡単ではありますが、活動報告書を添付いたしましたので、ご高覧いただけると幸甚です。

さて、今年も沖縄県祖国復帰記念日が近づいてまいりました。今年は49周年、そして、来年は大きな節目となる50周年です。当フォーラムでは、この節目の年は、共産主義勢力による日本民族分断工作を跳ね返し、日本繁栄の礎を築く、千載一遇の大きなチャンスと捉えています。そのため、そのチャンスを最大限に活かすため、49周年と50周年を連続して取り組むことにし、沖縄県祖国復帰49-50周年記念祝賀事業推進委員会を発足することといたしました。まずは、49周年の靖國集会を盛大に開催し、その後、1年間を通して多くの愛國団体の皆様とともに盛り上げイベントを開催し、50周年は政府主催式典を東京でも行うなど国民的行事にまで盛り上げる計画です。是非とも皆様とご一緒に50周年の式典の大成功に向けて、それぞれができることで力を合わせて行きたく存じますので、どうかご入会のほどよろしくお願い申し上げます。詳細は設立趣意書を同封いたしましたのでご高覧いただければと思います。

また、今回山口采希さんをお願いして、沖縄県祖国復帰記念歌も制作いたしました。歌詞とプロモーション動画のQRコードを記載した資料も同封いたしましたので、是非ご視聴をお願いいたします。

さて、コロナ自粛下で当フォーラムの収入も大きく激減しているため、活動資金が心もとない状態です。皆様も出費他端の折、甚だ恐縮に存じますが、重ねてご協賛金のお願いを申し上げます。次第です。末筆になりますが、皆様のますますのご健勝を心より祈念申し上げます。

一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム
理事長 仲村覚

沖縄県祖国復帰四十九周年、五十周年記念祝賀事業推進委員会設立趣意書（案）

現在、米中の軍事カパランスはますます中国に有利に傾き、その格差は縮まり、南西諸島周辺においても、数年以内には逆転する可能性が高まっています。その中で、中国の尖閣諸島実効支配の試みは、単なる局地的な軍事戦略の反映ではありません。カイロ宣言及びポツダム宣言を口実として、戦後の国際秩序を破壊しようとする戦略的な狙いが秘められています。その狙いとは、日本に対する、核恫喝など、力による威嚇あるいは侵略によって、日本に沖縄の主権放棄を強要することです。日本は戦後、米軍占領下で沖縄を切り離して分断統治され、二〇〇〇年代からは中国の影響の下、長年にわたり、琉球独立工作という日本民族分断工作が国内外で展開されてきました。その結果、国連は日本政府に対し、沖縄の人々を先住民族と認定するよう勧告を繰り返してきました。また、米国のアスコミも中国の統一戦線工作のコントリール下に置かれているため、中国はいつでも米国及び国際世論を琉球独立支持に傾けることも可能な状態にあります。

一方、米国は、対中核戦争回避を戦略立案の大前提とし、中国本土への攻撃は基本的に行わないことを戦略方針としているため、日本が中国から核恫喝を受けた場合、米国は東京のためにニューヨークを犠牲にして核反撃する可能性は極めて低く、日本も自ら対処する能力をもたないため、沖縄の主権放棄に追い込まれる可能性が極めて高いと言わざるを得ません。つまり、沖縄は軍事的な国防最前線というだけではなく、歴史戦、心理戦においても国防最前線なのです。歴史戦、心理戦に対して闘うためには日本民族としての一体感が最も重要なのですが、戦後の日本で沖縄の歴史は、日本とは異なる琉球王国の歴史として学ばされ、特に沖縄戦で沖縄県民は日本の被害者だというプロパガンダが長年展開され、精神的な分断が浸透してしまっているため、現状では、とても戦える精神体制にあるとは言えません。

以上の諸情勢に鑑みれば、日本は核の恫喝に対処する防衛力の保持を急ぐのみならず、民族分断の歴史戦、心理戦における対処が急務です。民族とは歴史と使命を共有した運命共同体であり、民族の一体感を涵養するには、歴史を共有することが必須です。江戸時代から外交・国防最前線だった沖縄には共有するべき民族の歴史がたくさんありますが、その中でも最も共有するべき歴史は、沖縄戦と沖縄県祖国復帰の歴史です。沖縄戦は人類史上最大ともいえる激戦で、一五万人近い沖縄県民が戦死しましたが、沖縄で戦ったのは沖縄県民だけではなく、彼らが命を賭して守り抜こうとした沖縄が祖国日本千人の若者が沖縄戦で散華しています。そして、彼らが命を賭して守り抜こうとした沖縄が祖国日本に戻り、日本民族の再統一を果たしたのが、二七年後の昭和四七年の五月一五日です。

つまり、五月一五日という日は、敗戦により分断された日本民族がわずか二十七年という短い期間で、再統一を成し遂げた、奇跡とも言える日本民族の誇るべき歴史です。そして、この日は本来、沖縄戦を戦った英霊と沖縄祖国復帰にご尽力された全ての方に感謝を捧げるとともに、彼らの志をしっかりと引き継いで、「再び沖縄を他国に渡さない！」「決して民族の分断を許さない！」「国家の主権も民族の統一も必ず守り抜く！」ということを全国民で誓い合う日であるべきです。それが、引いては日本民族を団結させ、共産主義勢力による日本民族分断工作を跳ね返す力となり、日本繁栄の礎となるのです。よって、共産主義勢力による日本民族の分断を阻止し、日本の永遠の繁栄の精神的礎をつくるため、沖縄県祖国復帰四十九周年、五〇周年祝賀事業推進委員会の設立を企画いたしました。活動目標を以下に列挙いたしますので、ご賛同、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- ① 沖縄県祖国復帰四十九周年と五〇周年の祝賀事業を連続して取り組み、政府主催の式典と民間主催の様々な記念事業を開催し、国民全体で祝う流れをつくる。
- ② 五〇周年の祝賀事業に向けて、沖縄県祖国復帰の正しい歴史を共有するため、コンテツの制作、セミナー、展示会などを開催する。
- ③ 沖縄県祖国復帰五〇周年記念映画制作実行委員会を発足し、クラウドファンディング等で資金を集め、五〇周年内に制作に着手する。
- ④ 沖縄県祖国復帰記念日を国民の祝日にする署名活動、陳情活動を行う。

※プロジェクトの詳細については別紙「沖縄県祖国復帰四十九周年、五〇周年記念プロジェクト（案）」をご参照ください。

令和三年五月吉日

一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム
理事長 仲村 覚

令和3年

6月6日(日)

祝賀集会

会場 靖国会館

(靖国神社境内) 2F

◎受付:10時

◎開会:10時半(正午終了)

◎参加費:1,000円

50周年
祝賀事業
推進大会

来賓挨拶

～登壇者調整中～

各推進委員より
周年事業計画発表

～各委員計画作成中～

祖国復帰
沖縄県

49周年記念



靖国集会

奉納芸能
会場 能楽堂

◎午後1時半～午後3時

山口采希さんLIVE



作詞・沖縄県祖国復帰記念歌制作実行委員会
作曲・山口采希

「世界に誇る祖国の歴史」
沖縄県祖国復帰記念歌

琉球舞踊



八重山古典民謡保存会
慶田盛宏研究所

(沖縄県指定無形文化財保持者)

エイサー

奉納者調整中



沖縄県祖国復帰49周年/
祝賀大パレード

集合場所 第一鳥居 午後3時半

出発時間 午後4時(午後5時終了予定)



主催: 沖縄県祖国復帰49周年靖国集会実行委員会
連絡先: 080-5021-8105 (仲村 寛)



一般社団法人

日本沖縄政策研究フォーラム
Okinawa Policy Research Forum of Japan

世界に誇る祖国の歴史

沖縄県祖国復帰記念歌

共に喜び共に祝おう
世界に誇る祖国の歴史を

美しい南の島に
戦の波が寄せてきた
祖国と家族を守るために
勇気を持って立ち向かう
数多の若人が命賭し
沖縄戦が祖国を守った
共に悲しみ共に泣こう
戦なき永遠の平和を祈って

戦(いくさ)の弾はやんでも
我らの国はるか彼方

異国の風に屈しません

必ず戻るわが祖国

うちなーの心ひとつにして

皐月(さつき)の雨に願いは叶った

共に喜び共に祝おう

世界に誇る祖国の歴史を

皆の思い南の島へ

力合わせて助け合う

時が過ぎても忘れません

誇りの島、防人島(さきもりしま)

いかなる試練の波が襲おうとも

我らの強い絆を確かめて

共に手をとって共に築こう

永遠に栄えゆく祖国日本を

共に喜び共に祝おう

世界に誇る祖国の歴史を

作詞

沖縄県祖国復帰記念歌制作実行委員会

作曲

山口采希

歌

山口采希

プロモーション動画



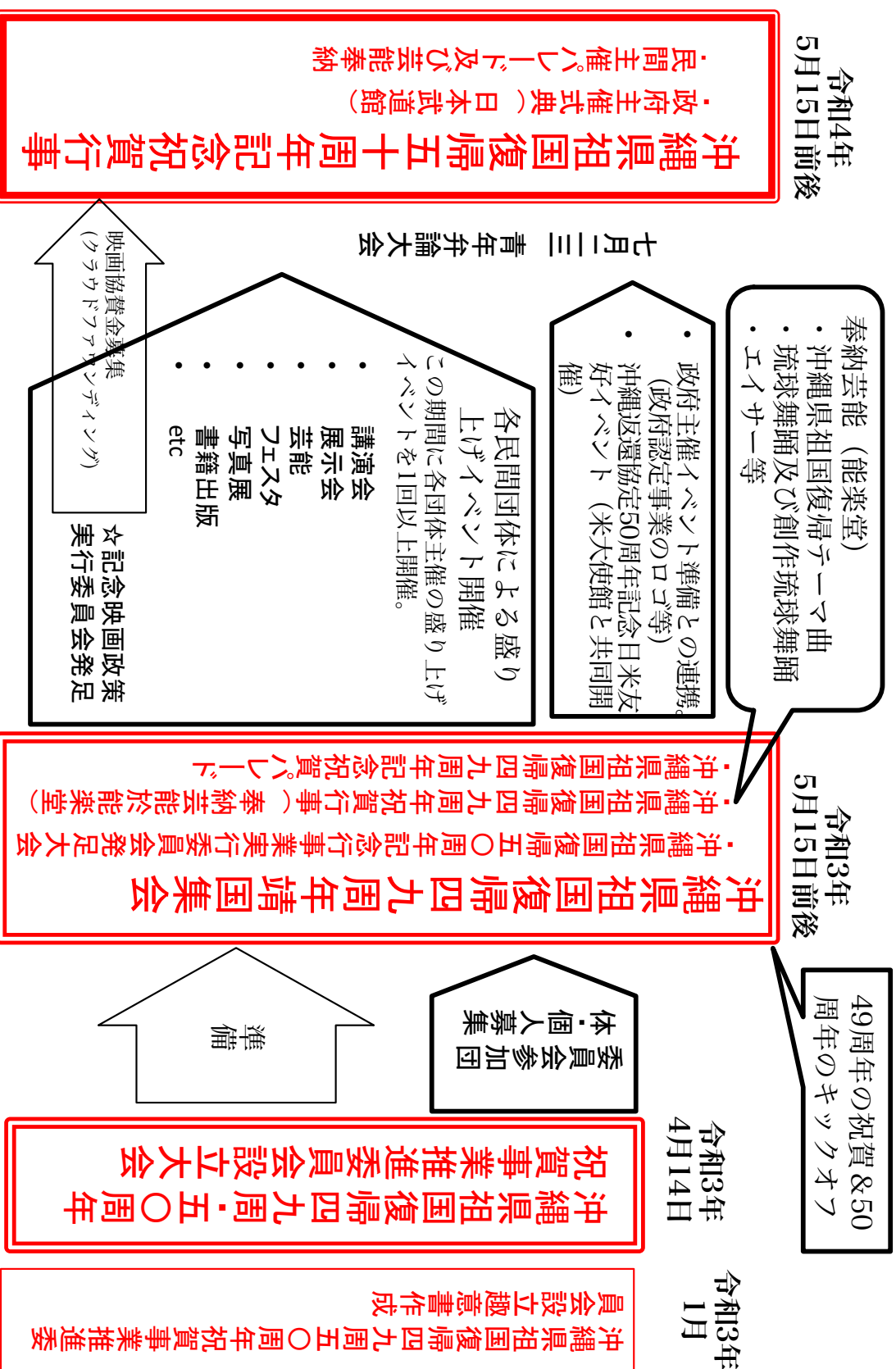
一般社団法人

日本沖縄政策研究フォーラム
Okinawa Policy Research Forum of Japan

沖縄県祖国復帰49周年、50周年記念事業プロジェクト（案）

主旨


沖縄県祖国復帰50周年を迎えるに当たり、日本国民全体で沖縄県祖国復帰の意義とその精神を見直し、沖縄戦で散華した、47都道府県出身の英霊と沖縄県祖国復帰に尽力した先人の功績を顕彰し、その志を引き継ぎ日本民族団結して、ともに力を合わせて繁栄していく日本を築いていくことを誓い合う記念日とする。国民的行事にするため、49周年から取り組むものとする。



令和四年十二月三十一日



【ご協賛金等申込書】

沖縄県
祖国復帰49周年記念  靖国集会

沖縄県
祖国復帰49-50周年記念祝賀事業推進委員会

御協賛金、特別御協賛金は当日配布のパンフレットに掲載します。

【御協賛金】

御協賛金（1口3,000円） _____ 口として _____ 円を申し込みます。

ご希望の方は当日配布のパンフレットにご芳名を記載させていただきます。

御協賛者として御芳名の記載（可・不可） ※囲み無しの場合不可と判断させていただきます。

【特別御協賛金】

特別御支援金（1口壱万円） _____ 口として _____ 円を申し込みます。

ご希望の方は当日配布のパンフレットにご芳名を記載させていただきます。

特別御協賛金として御芳名の記載（可・不可） ※囲み無しの場合不可と判断させていただきます。

【沖縄県祖国復帰49-50周年記念祝賀事業推進委員会入会】

入会費 _____ 口として _____ 円を申し込みます。

（個人：1口1,000円、団体：1口5,000円）

合計

円也

上記の通り申し込みます

令和3年 月 日

ご住所

ご芳名

御電話番号

E-mail：

送信先 FAX:098-993-7609

Email:nakamura.satoru7@gmail.com

協賛広告・ご協賛金お申込み手順

(1) 申込書を FAX 送信

同封の「申込書」に必要事項を記入の上 FAX を送り下さい

⇒FAX 番号： 098-993-7609

締切：令和 3 年 5 月 31 日(月)

※エラーになる場合は、
nakamura.satoru7@gmail.com に
送信をお願いします。

(2) 送金方法

下記のゆうちょ銀行の口座にご送金をお願い致します。

締切：令和 3 年 6 月 4 日(金)

【銀行からお振り込みの場合】(※店名はカタカナで入力して下さい。)

銀行名	ゆうちょ銀行	口座番号	767319
店名	〇一九店 (ゼロイチキュウ)	口座名称	一般社団法人 日本沖縄政策研究フォーラム (シヤ) ニホンオキナワセイサクケンキ ュウフォーラム
預金種目	当座		

【ゆうちょ銀行からお振り込みの場合】

記号番号	00130-0-767319
------	----------------